

平成30年4月26日

助成事業実施報告書

団体名 たちかわ・財政を考える会
代表者・役職名 氏名 会長・加藤 良重

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

「たちかわ市民財政白書:第2弾」の作成と「たちかわ・財政学習会」の開催

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

たちかわ市民交流大学の市民企画講座として、平成25年3月から10回の財政講座を実施し、立川市を中心とした地方財政と財政白書づくりについて学習を行いました。その講座に参加したメンバー20名(現在23名)が中心になって、平成26年4月に「たちかわ・財政を考える会」を設立しました。また、平成26年11月に「立川市社会教育関係団体」に登録・承認されています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

夕張市の財政破綻後、財政健全化への取り組みが強化され、市民が自分たちのまちの財政を学び・市民による財政白書づくりが行われています。この市民による財政白書づくりは、多摩地区で発生しており全国に広まっています。立川市近隣市町でも、昭島市・国立市・小平市・小金井市・府中市などで作成され、更に2冊目・3冊目と再版が行われています。立川市でも、平成27年度に「たちかわ市民財政白書」を作成しましたが、更に一般市民への普及と白書の内容の充実・追加発行を図り、立川市の財政に関心を持つ市民の輪を広げ、この立川市を更に魅力あるまちにして行きたいと思っています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

1. 「なっとく 自治・政策・財政 市民ハンドブック (追加版)」の作成・発行 (29.7.1)
 - ① 「政策実現の「条例」はどのようにして制定されるか」 : 13ページ (500冊)
 - ② 「たちかわ市民財政白書 資料集 (追加版)」 : 65ページ (500冊)
2. 「たちかわ市民財政白書 (第2弾)」の作成・発行 (30.3.1)
 - ① 「市民からみた立川市の財政・まちづくり」 : 78ページ (400冊)
3. 「たちかわ・財政学習会」などの開催
 - ① 「たちかわ・財政学習会」などの開催 : 10回 (29.5~30.2) , 延べ参加者 : 180名
 - ② 「たちかわ市民交流大学・財政講座」協力開催 : 2回 (30.3.3, 17) : 参加者 30名
 - ③ 「お出かけ学習会」 : 3回 (明治大校友会・自治体法務合同研究会・しんぶん談話会)
4. 作成・発行資料の広報・普及・頒布
 - ① チラシおよび学習会などで、市民・市議会議員・立川市職員などに広報・頒布中。
 - ② 「たちかわ市民財政白書」につづいて、「立川市図書館」に無料配布し貸出し中
 - ③ 今年度、「都政新報」, 「自治体の財政分析」に紹介記事が掲載

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 白書づくりに多様な市民の参加が得られたこと<ul style="list-style-type: none">・年齢・性別・職業歴・地域活動など、多様な市民が参加しています。(29年度3名増)2. 「たちかわ・財政学習会」に定常的に市民などが参加したこと<ul style="list-style-type: none">・財政と言う難しい分野に関わらず、定常的に参加されました。(延180名、平均18名)・参加者のうち、著名の市民の方(農工大名誉教授・日本環境学会会長)が居られ、「たちかわ市民財政白書：第2弾」に特別寄稿を頂きました。3. 「市民財政白書の報告と交流のつどい」を立川市での開催が確定したこと<ul style="list-style-type: none">・28年度に続いて、多摩地区を中心に全国的に開催している会を、立川市で2回目の開催をずる事が確定しました。(30.06.2)4. まちづくりへの「橋渡し」に貢献<ul style="list-style-type: none">・学習会の中で、参加者との意見交換が活発に行われました。・市民から見た問題点を、市民・議会が一体となって改善・改革していく為に、市民の方々に身近な問題として考えて頂くような題材を提供する端緒になりました。 |
|---|

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">①平成30年度は、27～29年度に作成した「たちかわ市民財政白書(1,2弾)」,「追補版」,「追加版」をもとに、市民・市議会議員・自治体職員に参加を呼びかけて、「たちかわ・市民財政塾」を継続的に開催して行く。これにより、更に一般市民の財政への関心を広げて行くと共に、立川市の財政を考える仲間の輪を広げて行く。③「たちかわ市民交流大学」の「財政講座」に協力開催する。(講師の派遣・資料の提供)④立川市内の色々な団体のイベントなどの機会を捉えて、多くの市民・市議会議員・自治体職員への普及活動を進めて行く。(お出かけ学習会)⑤全国的な「市民財政白書のつどい」を立川市で協賛開催する。⑥更に、1～2年後を目途に、3弾目の「たちかわ市民財政白書」の発行を目指して行く。 |
|--|

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。	参考資料あり
---	--------

【平成 29 年度】

「たちかわ・財政学習会」

～身近な所から財政問題を考えてみよう～

主催：たちかわ・財政を考える会 協賛：たちかわ市民みらい会議

「たちかわ・財政を考える会」では、住みよいまちづくりを目指して、市民目線でわがまちの税金の使いみちについて知り、共に考えるために、市民の手による学習会を開催します。

この学習会は、市民と議員さらに自治体職員が、財政を中心とした基本的な知識・情報を共有し、議論できる場にして行きたいと考えています。

どなたでもお気軽にご参加ください。

【学習テーマ・日時・会場（予定）】

回	学習テーマ	日時	会場
1	① 平成 29 年度立川市予算の概要（出前講座） ② 一般会計と特別会計	H. 29. 5. 13（土） 13:30～15:30	女性総合センター・アイム 5階・第2学習室
2	① 市民バス事業 ② 立川防災体制	H. 29. 6. 3（土） 9:30～11:30	女性総合センター・アイム 5階・第3学習室
3	① 障害者差別の対応策 ② 普通会計と公営事業会計	H. 29. 7. 2（日） 9:30～11:30	女性総合センター・アイム 5階・第2学習室
4	① 地域コミュニティの活性 ② 高齢者の介護	H. 29. 8. 6（日） 13:30～15:30	女性総合センター・アイム 5階・第2学習室
5	① 待機児童と保育費用 ② 生涯学習の展開	H. 29. 9. 24（日） 9:30～11:30	女性総合センター・アイム 5階・第2学習室
6	① 公共施設の老朽化対策 ② 政務活動費をめぐって	H. 29. 10. 15（日） 13:30～15:30	女性総合センター・アイム 5階・第2学習室
7	① 平成 28 年度決算の概要（出前講座）	H. 29. 11 未定	未定

注）学習テーマは変更することがあります。会場は順次連絡します。

◎ 参加費：500 円（テキスト代）

テキスト：「自治・政策・財政 市民ハンドブック」・「たちかわ市民財政白書・資料集」

◎ 問合せ・申込先：Eメール：tatikawa.zaisei@sirius.ocn.ne.jp

【たちかわ・財政を考える会】

たちかわ・財政を考える会は、市民の立場からわがまちの財政について、共に学び・考え、発信することを目的として、市民有志が主体となって組織した団体です。会の活動には、党派性や宗派性をもち込まず、行政当局の影響も受けることなく自主性・自立性を貫くこととしています。会には、市内外の誰でも加入でき、議員や自治体職員も市民の立場で加入できます。会の運営はオープンにしています。